総合計画進行管理会議(令和4年度第1回)

日時: 令和4年8月29日(月)

9:00~

場所:庁議室

次 第

- 1. 第5次和泉市総合計画に係る令和3年度事後評価結果について
 - (資料1) 成果指標一覧
 - (資料2) 成果指標達成状況(部別)
 - (資料3) 達成率が順調に推移している事例の一部
 - (資料4-1) 成果指標一覧(市民アンケート)
 - (資料4-2) 成果指標達成状況(市民アンケート)
- 2. 外部評価委員会の答申に対する対応方針について
 - (資料5) 和泉市外部評価委員会答申
 - (資料6) 和泉市外部評価に対する市の対応方針
- 3. その他

(参考資料) 第5次和泉市総合計画等進行管理要綱

外部評価委員会関係スケジュール

- 7月 外部評価委員会から答申
- 8月 総合計画進行管理会議にて対応方針の確定
- 9月 市議会各委員会協議会に報告
- 10月 市ホームページにて公表

達成率 = 達成率 = ×100 ×100 (計画後半) (計画全体) R7目標 - R2基準値 R7目標 - H27基準値 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%) 達成率 目標値 (計画後半) 「R3~] 章 節 重点施策 番号 成果指標(KPI) (計画全体) 担当部 担当課 取組事業 参考值 (基準値) 増減率 影響大 R7年度 R3年度 [H28~] R元年度 R2年度 前年度比 94.9% 0.0% 0.0% 1.33 1.27 1.36 1.29 1.35 「結婚・出産・子育て」に夢や希望 が持てる環境づくり 1章 1節 合計特殊出生率 市長公室 政策企画室 府内平均 (H26年度) (H30年度) (R元年度 (R2年度) (H30年度) 転入超過(+244) 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり 1章 1節 社会動態(転入者数-転出者数) 転出超過 転出超過 転出超過 均衡 市長公室 政策企画室 安心して子育てができる環境が整って 「結婚・出産・子育て」に夢や希望 が持てる環境づくり 市民アンケー 1節 107.7% 1章 41.80 54.7 59.6 64.2 60.0 100.0% 100.0% 市民アンケート いると思う市民の割合 子育て世代移住・定住バスツアーの年 01 結婚・出産の希望をかなえ 広報·協働推進 1節 0 6 皆増 10 60.0% 60.0% 市長公室 移住定住支援事業 る環境づくり 間参加組数 定住施策として実施する補助事業対象 広報·協働推進 01 結婚・出産の希望をかなえ る環境づくり 0.0% 1章 1節 0102 者の市内定住率(令和3年度~令和7 100.0 0.0% 市長公室 結婚新生活支援事業 健康づくり推進 01 結婚・出産の希望をかなえ る環境づくり 0103 妊婦健康診査の利用率 1章 1節 87.3 90.8 83.9 91.4 108.9% 92.0 92.6% 87.2% 子育て健康部 妊婦健康診査費用公費負担事業 乳幼児健康診査受診率 02 子どもたちの健やかな発 育の支援 健康づくり推進 1章 1節 (4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児 93.7 94.5 95.4 96.0 100.6% 95.0 100.0% 100.0% 子育て健康部 乳幼児健康診査事業 日本脳炎、BCG、麻しん・風しんの接種 健康づくり推進 02 子どもたちの健やかな発 育の支援 1章 1節 0202 86.5 93.6 94.8 77.7 82.0% 97.0 0.0% 0.0% 子育て健康部 主要予防接種受診率向上事業 (通院・入 通院·入 通院·入 (通院)小学5 (通院·入院) 年度末年齢 02 子どもたちの健やかな発育の支援 0203 こども医療費助成の対象年齢拡大 年生まで 子育て健康部 子育て支援室 こども医療費助成事業 1章 1節 100.0% 100.0% 年度末年齢 (入院)中学3 中学3年生 中学3年生 18歳まで 年生まで まで まで 18歳まで 02 子どもたちの健やかな発 0204 保育コンシェルジュ開設日数 日 1節 134.9% 75.3% 75.3% 子育て健康部 こども未来室 利用者支援事業 166 166 224 243 育の支援 02 子どもたちの健やかな発 育の支援 0205 年間保健指導数 健康づくり推進 1節 子育て健康部 件 15,085 15,500 100.0% 100.0% 母子健康教育相談·訪問指導事業 1章 12,496 15,176 16,128 106.9% 03 きめ細やかな子育てサ ポート体制の充実 1節 0301 ふたば・第2ふたば幼児教室の待機児童数 41 0 0 0 0 100.0% 100.0% 子育て健康部 子育て支援室 ふたば・第2ふたば幼児教室運営事業 児童虐待等の養育課題が見られる児 03 きめ細やかな子育てサ ポート体制の充実 1章 1節 0302 童のうち状況が安定し支援を終結した 252 682 525 108.4% 450 100.0% 100.0% 子育て健康部 子育て支援室 子育てなんでも相談事業 569 児童数 地域子育て支援事業の1日当たりの利 04 地域で安心して子育てが できる仕組みづくり 1章 1節 0401 243 287 162 139 85.8% 300 0.0% 0.0% 子育て健康部 子育て支援室 地域子育て支援拠点施設事業 用者数 04 地域で安心して子育てが できる仕組みづくり 地域主催の教育講演会・イベント及び 我が町の子どもを育てよう事業 0402 1章 1節 10,538 17,329 4,281 102.8% 14,000 1.2% 0.0% 教育・こども部 学校教育室 0 4,163 見守り活動等への参加者数 小中一貫教育推進事業 04 地域で安心して子育てが 1章 1節 0403 放課後子ども教室の実施校区数 校区 21 15 21 11 10 90.9% 0.0% 0.0% 教育・こども部 こども未来室 放課後子ども教室推進事業 できる仕組みづくり 05 子育てと仕事の両立支援 1章 1節 0501 保育所等利用待機児童数 27 72 51 15 29.4% 0 70.6% 44.4% 教育・こども部 こども未来室 民間保育所等整備補助事業 体制の充実 05 子育てと仕事の両立支援 1章 1節 0502 留守家庭児童会の待機児童数 0 0 0 0 0 100.0% 100.0% 教育・こども部 こども未来室 留守家庭児童会運営事業

R3実績 - H27基準値

R3実績 - R2基準値

資料1

第5次和泉市総合計画(改訂版) 成果指標一覧

						達成率 = (計画後半)		R2基準値 R2基準値	×100		達成率 = (計画全体)		H27基準値 H27基準値	×100	(100% 超の提合):	100%	基準値を下回る場合は0%)
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値(R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	コロナ影響大	取組事業
1章	2節	社会に貢献できる人材輩出に 向けた教育環境の充実	-	小・中学校における教育環境が整っている と思う市民の割合	%	41.1	52.0	47.1	50.7	107.6%	55.0	45.6%	69.1%	市民アンケート	市民アンケート		
1章	2節	06 社会の変化に対応できる 生きる力を育む人づくり	0601	保育所、認定こども園、幼稚園職員を 対象にした研修の参加のべ人数	人	850	1,060	503	461	91.7%	1,200	0.0%	0.0%	教育・こども部	こども未来室	0	保育園·幼稚園等職員研修事業
									小学校								
1賞	1 2節	06 社会の変化に対応できる	0603	, 全国学力・学習状況調査の結果の平均正 答率 対全国比	%	0.947	0.980	-	0.950	皆増	1.060	89.6%	2.7%	教育・こども部	学校教育室	0	学力向上対策事業
1.5	2 2 1	生きる力を育む人づくり	0602	答率 対全国比	70				中学校								いずみ希望塾運営事業(学習支援・居場所づくり事業)
						0.970	0.914	-	0.922	皆増	1.010	91.3%	0.0%	教育・こども部	学校教育室		
								1	小学校		,						
1質	1 2節	06 社会の変化に対応できる	0603	年度末学校図書館調査における市の児童 生徒一人あたりの年間貸出冊数	m m	70.1	65.7	54.9	62.6	114.0%	71.0	47.8%	0.0%	教育・こども部	学校教育安	0	小中学校図書館教育推進事業
124	_ Z _B J	生きる力を育む人づくり	0000	1生徒一人あたりの年間貸出冊数	数			ı	中学校	ı	1			教育 ここの即	于汉秋月王		7.个于"人位自由从行正是于未
				J3 生徒一人あたりの年間貸出冊数		16.0	11.7	8.8	7.9	89.8%	16.5	0.0%	0.0%				
1章	2節	06 社会の変化に対応できる 生きる力を育む人づくり	0604	-	\backslash	-	-	-	-	-	令和7年3月完 成	-	-	教育・こども部	学校園管理室		(仮称)槇尾学園整備事業
								小学校									
15	1 2節	全国学力・学習状況調査児童質問紙 06 社会の変化に対応できる サキュナを変わしている。 0605 の内容はよく分かりますか」(小学社)	全国学力・学習状況調査児童質問紙「授業 の内容はよく分かりますか」(小学校:国	0/	79.1	85.6	83.4	84.8	101.7%	90.0	21.2%	52.3%	数容・こども.部			教職員人材育成事業	
1.5	스메	生きる力を育む人づくり	3005	5 の内容はよく分かりますか」(小学校:国 5 語・算数、中学校:国語・数学)の肯定的な 回答の割合	%				中学校					教育・こども部 学校教育	丁 人 秋 月 土		びからなくくい。日本の子木
						70.6	74.5	74.2	77.4	104.3%	80.0	55.2%	72.3%				

達成率 = R3実績 - R2基準値 ×100 達成率 = R3実績 - H27基準値 ×100 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)

							K/日信 -	THE STATE OF THE S				K/日信 -	1127至于世		(10070)2073) [118	10070	基準値を F凹る場合はU%)
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	コロナ 影響大	取組事業
									小5·男								
					%	0.95	0.96	-	0.97	皆増	1.01	96.0%	33.3%	•		0	
									小5·女								
1章	2節	06 社会の変化に対応できる	0606	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の 「市内の体力合計点」の平均値 対全国比	%	0.92	0.96	-	0.97	皆増	1.01	96.0%	55.6%	教育・こども部	学校教育会		体力·運動能力向上事業
174	스테	生きる力を育む人づくり	0000	「市内の体力合計点」の平均値 対全国比					中2·男					XH CCOM	于仅积月王		
					%	0.97	0.98	-	0.98	皆増	1.01	97.0%	25.0%				
									中2·女								
					%	0.97	0.98	-	0.98	皆増	1.01	97.0%	25.0%				
1章	2節	06 社会の変化に対応できる 生きる力を育む人づくり	0607	学校給食がおいしいと感じている児童・生 徒の割合	%	91	90	91	93	102.2%	92	100.0%	100.0%	教育・こども部	学校園管理室		学校給食充実事業
									小学校								
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推	0701	自分には、よいところがあると思っている 子どもの割合(全国学力・学習状況調査	%	72.8	77.9	74.1	70.3	94.9%	80.0	0.0%	0.0%	教育・こども部	学校教育会		豊かな心の教育推進事業
19	스테	進	0701	児童・生徒質問紙調査の肯定的回答に基 づく)					中学校					教育 ここで配	子权教育主		豆がないの我自住進争来
				"	%	55.7	64.2	64.6	67.7	104.8%	70.0	57.4%	83.9%				
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推 進	0702	小学校におけるいじめの解消率	%	78	51	65	62	95.4%	95	0.0%	0.0%	教育・こども部	学校教育室		スクールカウンセラー派遣事業
									小学校								
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推	0703	市内小中学校の不登校児童生徒数の割合	%	7.0	6.9	12.7	17.4	137.0%	5.2	0.0%	0.0%	教育・こども部	学校教育室	0	不登校対策·相談支援事業
	-M	進	0,00	WHITE THE TEXT OF	/0				中学校					AND CCOUP	1 124717		TENANT HIMAMAA
						34.5	37.4	44.9	54.8	122.0%	30.5	0.0%	0.0%				
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推 進	0704	子ども一人当たりの市立図書館児童図書 貸出冊数	m	17	17	12	15	125.0%	20	37.5%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	子どもの読書活動推進事業
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0801	市内全中学校3年生の英検3級程度以 上の英語力を有すると思われる生徒の 割合	%		42.2	47.4	41.1	86.7%	55.0	0.0%	0.0%	教育・こども部	学校教育室		英語能力検定推進事業
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0802	交換学生派遣事業参加者の国際交流事業 等参加率	%		19	0	13	皆増	60	21.7%	21.7%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	交換学生派遣事業
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0803	「日本と世界の子どもの作品展」応募作品 数(市内)	点	35	48	79	41	51.9%	60	0.0%	24.0%	生涯学習部	生涯学習推進室		日本と世界の子どもの作品展
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0804	世界の文化講座(文化バスツアーを含む)における年間受講者数	人		50	39	117	300.0%	100	100.0%	100.0%	生涯学習部	生涯学習推進室		国際交流事業

資料1

第5次和泉市総合計画(改訂版) 成果指標一覧

 達成率 = (計画後半)
 R7目標 - R2基準値
 ×100
 達成率 = (計画全体)
 R3実績 - H27基準値
 ×100

 (計画後半)
 R7目標 - R2基準値
 ×100
 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は00%)

_															(1007000097-30日10		
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	コロナ 影響大	取組事業
1章	3節	一人ひとりが輝くための生き がいづくり支援	- 1	和泉市人材データバンクへの登録	人	39	68	68	45	66.2%	80	0.0%	14.6%	生涯学習部	生涯学習推進室		
1章	3節	一人ひとりが輝くための生き がいづくり支援	1	生涯学習の機会に親しめる環境が整って いると思う市民の割合	%	33.5	33.1	36.0	37.5	104.2%	40.0	37.5%	61.5%	市民アンケー ト	市民アンケート		
1章	3節	一人ひとりが輝くための生き がいづくり支援	1	和泉市の歴史文化に誇りをもっている市 民の割合	%	50.9	44.0	48.5	53.9	111.1%	50.0	100.0%	100.0%	市民アンケー ト	市民アンケート		
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域 に貢献する人材の育成	0901	各種生涯学習講座等の年間参加者数 (和泉市コミュニティセンター、和泉シ ティプラザ、和泉市生涯学習サポート 館、和泉市立青少年の家)	人	41,485	42,355	16,408	19,630	119.6%	46,000	10.9%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	生涯学習活動促進事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域 に貢献する人材の育成	0902	日本語サロンの在住外国人の受講者 参加人数(延べ数)	人		932	275	487	177.1%	1,200	22.9%	22.9%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	識字施策推進事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域 に貢献する人材の育成	0903	いずみ市民大学における年間受講者 数	人		598	270	643	238.1%	675	92.1%	92.1%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	いずみ市民大学事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域 に貢献する人材の育成	0904	成人教室の年間修了者数	人	51	37	37	33	89.2%	61	0.0%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室		成人教室事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域 に貢献する人材の育成	0905	図書館年間入館者数	人	1,005,583	877,969	534,762	594,472	111.2%	869,000	17.9%	17.9%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	図書館管理運営事業
1章	3節	10豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興	1001	市民文化祭に参加している市民の延べ 人数	人	9,550	8,765	0	7,345	皆増	10,500	70.0%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	市民文化祭事業
1章	3節	10豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興	1002	いずみの国歴史館、信太の森ふるさと 館への年間来訪者数	人	16,419	15,241	2,775	5,283	190.4%	19,000	15.5%	0.0%	生涯学習部	文化遺産活用課	0	いずみの国歴史館活性化事業 信太の森ふるさと館活性化事業
1章	3節	10豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興	1003	久保惣記念美術館の年間来館者数	人	23,161	34,676	7,070	11,024	155.9%	35,000	14.2%	0.0%	生涯学習部	久保惣記念美術 館	0	研究発表展事業 文化芸術普及促進事業 広報活動事業

×100 ×100 (計画後半) (計画全体) R7目標 - R2基準値 R7目標 - H27基準値 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%) (計画後半) 「R3~] (計画全体) 「H28~] 章 節 重点施策 番号 成果指標(KPI) 担当部 担当課 取組事業 (基準値) 参考値 増減率 影響大 R7年度 R3年度 前年度比 国民健康保険にかかる医療費の総額 健康寿命の延長をめざした健 4節 95.9% 1章 34.4 市民生活部 保険年金室 に占める生活習慣病にかかる医療費 34.3 33.8 32.4 29.0 29.2% 37.0% 健康寿命の延長をめざした健 要介護認定を受けていない後期高齢 4節 67.7 福祉部 1章 70.6 67.1 99.7% 70.0 0.0% 0.0% 高齢介護室 66.9 健康寿命の延長をめざした健 康づくりの推進 健康を保持するための環境が整ってい 市民アンケー 4節 62.4 64.6 69.1 107.0% 65.0 100.0% 100.0% 市民アンケート ると思う市民の割合 がん検診受診率(胃がん、肺がん、大腸 健康づくり推進 11 定期的な健康チェックの推 がん検診受診勧奨事業 4節 1101 105.7% 子育て健康部 0 1章 20.0 23.2 20.9 22.1 40.0 6.3% 10.5% がん、子宮がん、乳がん) 前年度のメタボリックシンドローム(内 臓脂肪症候群)該当者・予備群のうち、 特定健康診査受診勧奨事業 11 定期的な健康チェックの推 4節 1102 33.5 27.0 27.7 102.6% 35.0 8.7% 8.7% 市民生活部 保険年金室 当該年度において対象外となった人の 特定保健指導利用促進事業 「ヘルスアップサポーターいずみ」の年 健康づくり推進 11 定期的な健康チェックの推 1章 4節 1103 1.047 2.150 1.244 1.070 86.0% 3.100 0.0% 1.1% 子育て健康部 ヘルスアップサポーターいずみ養成・活動支援事業 間地域活動回数 12 スポーツを通した心身の健康増進 4節 76.9% 1章 1201 スポーツイベント等の年間参加者数 6,308 12,524 182 140 14,000 0.0% 0.0% 生涯学習部 生涯学習推進室 0 スポーツイベント推進事業 12 スポーツを通した心身の健康増進 1章 4節 1202 スポーツ施設の年間利用者数 540,296 520,182 280,893 288,878 102.8% 578,000 2.7% 0.0% 生涯学習部 生涯学習推進室 0 体育施設利用促進事業 12 スポーツを通した心身の健康増進 4節 1203 体育協会の加盟者数 10,862 9,818 8,423 8,260 98.1% 11,000 0.0% 0.0% 生涯学習部 生涯学習推進室 体育協会運営費補助事業 住民自主グループによる介護予防体操 13 元気に生涯活躍できる環 1章 4節 1301 253 1,703 1,783 1,797 100.8% 2,400 2.3% 71.9% 福祉部 高齢介護室 地域介護予防活動支援事業 における年間参加者実人数 13 元気に生涯活躍できる環 境づくりの推進 認知症予防教室の延べ参加者数(令和 1章 4節 1302 84 435 513 326 63.5% 2,100 0.0% 12.0% 福祉部 高齢介護室 0 認知症予防教室開催事業 3年度~令和7年度) 13 元気に生涯活躍できる環 境づくりの推進 1303 老人クラブの登録者数 4節 14,536 13,097 12,034 1章 12,660 95.1% 13,100 0.0% 0.0% 福祉部 高齢介護室 老人クラブ加入促進事業 13 元気に生涯活躍できる環 高齢者おでかけ支援事業の年間利用 1304 47.47 4節 40.33 117.7% 50.0 73.8% 73.8% 福祉部 高齢介護室 高齢者おでかけ支援事業 境づくりの推進

達成率 =

R3実績 - H27基準値

R3実績 - R2基準値

達成率 =

×100 ×100 (計画後半) (計画全体) R7目標 - R2基準値 R7目標 - H27基準値 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%) (計画後半) 「R3~] 章 節 重点施策 番号 成果指標(KPI) (計画全体) 担当部 担当課 取組事業 (基準値) 参考値 増減率 影響け R7年度 R3年度 R2年度 前年度比 外出機会を創出するうる 良好なまちなみや快適な住環境づくり 市民アンケー 103.8% 1章 5節 45.4 0.0% 100.0% 市民アンケート おいのある都市基盤の整 51.0 55.9 58.0 55.0 が進んでいると思う市民の割合 外出機会を創出するうる 公園等の緑に接する環境が整っていると 市民アンケー 51.5 103.3% 1章 5節 おいのある都市基盤の整 57.7 60.9 62.9 65.0 48.8% 84.4% 市民アンケート 思う市民の割合 外出機会を創出するうる 安全に利用できる道路や交通手段が 整備されていると思う市民の割合 市民アンケー 5節 おいのある都市基盤の整 35.8 33.7 41.0 42.6 103.9% 40.0 0.0% 100.0% 市民アンケート 都市デザイン 5節 100.5% 都市整備室 14 緑のある憩いの場の創出 1401 都市公園の開設面積 ha 144.5 149.6 150.9 151.6 155.2 16.3% 66.4% 都市公園整備事業 1章 5節 14 緑のある憩いの場の創出 1402 貴重動植物の数 種類 6 6 6 6 100.0% 6 100.0% 100.0% 環境産業部 環境保全課 信太山丘陵市有地貴重動植物モニタリング事業 都市デザイン 14 緑のある憩いの場の創出 1403 市民などによる花壇管理面積 mÎ 100.0% 5節 59.7 59.7 120 0.0% 0.0% 都市整備室 いずみみどりの共生事業 都市デザイン 1章 5節 14 緑のある憩いの場の創出 1404 信太山丘陵里山自然公園の開設面積 ha 0.0 0.0 都市整備室 信太山丘陵里山自然公園整備事業 0.0 2.2 0.0% 0.0% 都市デザイン 15 住み続けたくなる快適な 1章 5節 1501 特定経路のバリアフリー化整備率 % 40.0 100.0% 85.0 0.0% 62.9% 都市整備室 道路改良事業 65.8 68.3 68.3 都市環境の整備 都市デザイン 15 住み続けたくなる快適な 都市環境の整備 1502 市内におけるこどもの事故死傷者数 5節 土木維持管理室 1章 45 30 46 153.3% 27 0.0% 0.0% 交通安全施設整備事業 15 住み続けたくなる快適な 都市環境の整備 市内における歩行者及び自転車による 都市デザイン 1章 5節 239 106.7% 180 0.0% 28.9% 都市政策室 交通安全啓発実施事業 263 209 224 交通事故発生件数 都市デザイン 老朽危険空家除却推進事業 15 住み続けたくなる快適な 都市環境の整備 1504 5節 空家解消延べ件数 件 9 33 55 166.7% 60 81.5% 81.5% 建築住宅室 空家相談会事業 16 外出を容易にする交通機 都市デザイン 12.0% 1601 コミュニティバス等年間利用者数 124,323 112,178 118,100 都市政策室 ○ コミュニティバス等運行事業 1音 5節 79,997 84,577 105.7% 12.0% 環境に配慮した快適なライフス タイルの確立 環境にやさしい暮らしを営むことができて いると思う市民の割合 市民アンケー 1章 6節 43.9 101.2% 14.6% 80.6% 市民アンケート 57.8 60.2 60.9 65.0 環境に配慮した快適なライフス ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづ 市民アンケー 57.2 1章 6節 64.1 62.3 64.7 103.9% 70.0 31.2% 58.6% 市民アンケート タイルの確立 くりが行われていると思う市民の割合 下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができていると思う 環境に配慮した快適なライフス 市民アンケー 1章 6節 67.6 59.6 64.0 63.5 99.2% 65.0 0.0% 0.0% 市民アンケート タイルの確立 17 環境負荷の少ない社会シ 市民一人あたりのCO2(二酸化炭素)排出 6節 1701 3,825 3,347 3,279 0.0% 3,290 0.0% 100.0% 環境産業部 環境保全課 ステムの構築 17 環境負荷の少ない社会シ お客さまサービ 1章 6節 1702 水洗化率 89.7 90.6 90.6 90.6 100.0% 90.9 13.3% 78.3% 上下水道部 0 水洗化啓発事業 ステムの構築 18 ごみの減量化と再資源化 1801 市民1人当たりの年間ごみ排出量 292.0 278.1 99.5% 260.7 1章 6節 kg 282.4 279.6 7.9% 44.4% 環境産業部 生活環境課 ごみ減量啓発事業 の推進

R3実績 - H27基準値

達成率 =

R3実績 - R2基準値

達成率 =

×100 ×100 (計画後半) (計画全体) R7目標 - R2基準値 R7目標 - H27基準値 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%) 章 節 重点施策 番号 成果指標(KPI) (計画後半) (計画全体) 担当部 担当課 取組事業 (其進値) 増減率 R7年度 影響 R3年度 R元年度 R2年度 前年度比 「新たに事業化された商品・技術の延 活力ある地域産業の実現と地 域雇用の創出 べ件数」及び「研究開発に関する国等 2章 1節 0 0.0% 10 0.0% 0.0% 環境産業部 産業振興室 の補助金延べ採択件数」の合計件数 (令和3年度~令和7年度) 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出 商店街組合への延べ新規加入件数(令 133.3% 1節 環境産業部 2章 3 4 20 5.9% 5.9% 産業振興室 和3年度~令和7年度) 次世代人材投資事業給付金の年間受 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出 2章 1節 4 100.0% 5 0.0% 0.0% 環境産業部 産業振興室 和泉市就職情報フェア、和泉市無料職 活力ある地域産業の実現と地 域雇用の創出 2章 1節 業紹介における就職者数 89 148.3% 520 10.0% 10.0% 市民生活部 くらしサポート課 (令和3年度~令和7年度 活力ある地域産業の実現と地 域雇用の創出 市内の商工業に活力があると感じる市 市民アンケー 116.4% 2章 1節 19.3 25.2 23.2 27.0 30.0 55.9% 72.0% 市民アンケート 市内の農林業に活力があると感じる市 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出 市民アンケー 2章 1節 16.8 20.3 22.3 23.2 104.0% 25.0 33.3% 78.0% 市民アンケート 民の割合 ものづくり技術・商品開発事業補助金を活用し 2章 1節 19 ものづくり産業の振興 1901 た大学等との連携研究の延べ事業件数 5 11 220.0% 25 30.0% 30.0% 環境産業部 産業振興室 ものづくり技術・商品開発支援事業 (令和3年度~令和7年度) 和泉市産業振興プラザにおけるセミ 2章 1節 19 ものづくり産業の振興 1902 ナー及び事業者交流会の年間参加人 156 0 204 皆増 200 100.0% 100.0% 環境産業部 産業振興室 0 販促強化支援事業、中小企業総合力アップ支援事業 20 商店街活性化と産業集積 2章 1節 2001 創業セミナーの年間受講者数 97 0 95 皆増 130 73.1% 73.1% 環境産業部 産業振興室 0 創業支援事業 による地域の賑わいの創出 20 商店街活性化と産業集積 商店街内への新規出店者に対する補 件 3 133.3% 5 2章 1節 2002 4 4 50.0% 50.0% 環境産業部 産業振興室 創業支援事業 による地域の賑わいの創出 助金の年間交付件数 20 商店街活性化と産業集積 2003 商店街加入店舗数 件 101.9% 環境産業部 2章 190 341 320 326 341 28.6% 90.1% 産業振興室 商店街活性化事業 による地域の賑わいの創出 2004 テクノステージ和泉における企業の立 20 商店街活性化と産業集積 100.0 2章 1節 100.0 100.0 100.0 100.0% 100.0 100.0% 100.0% 環境産業部 産業振興室 産業集積促進事業 による地域の賑わいの創出 20 商店街活性化と産業集積 による地域の賑わいの創出 トリヴェール和泉西部地区における企 2音 1節 2005 95.1 100.0 100.0 100.0 100.0% 100.0 100.0% 100.0% 環境産業部 産業振興室 産業集積促進事業 業の立地割合 21 産業として成立する農林業の確立 2章 1節 2101 エコ農産物の申請栽培面積 4,565 4,768 4,898 102.7% 5,200 30.1% 30.1% 環境産業部 産業振興室 地産地消推進事業 21 産業として成立する農林 業の確立 農業関係団体が実施する各種研修会 115 2章 1節 2102 0 27 皆増 120 22.5% 22.5% 環境産業部 産業振興室 6次産業化促進事業 等の受講者数 21 産業として成立する農林 業の確立 2103 農業体験交流施設の年間利用者数 38,262 2章 1節 31,147 11,609 21,779 187.6% 43,000 32.4% 0.0% 環境産業部 産業振興室 0 都市農村交流事業 21 産業として成立する農林 業の確立 2章 1節 2104 いずもくの年間搬出量 0 356 941 264.3% 300 100.0% 100.0% 環境産業部 産業振興室 市内産木材ブランド化推進事業 22 安定した雇用の創出と次 代の担い手の育成 中小企業振興対策事業補助金(人材育 2章 1節 2201 9 5 6 120.0% 20 6.7% 6.7% 環境産業部 産業振興室 中小企業振興対策事業 成支援事業)の年間交付件数 22 安定した雇用の創出と次 代の担い手の育成 1節 2202 認定農業者数 77 76 76 79 103.9% 80 75.0% 66.7% 環境産業部 産業振興室 農業担い手育成事業 22 安定した雇用の創出と次 1節 2203 和泉市就職情報フェアの年間面接者数 45 0 4 皆増 50 8.0% 8.0% 市民生活部 くらしサポート課 0 和泉市就職情報フェア事業 2章 代の担い手の育成 和泉市無料職業紹介センターにおける 22 安定した雇用の創出と次 2章 1節 2204 220 322 478 148.4% 220 100.0% 100.0% 市民生活部 くらしサポート課 和泉市無料職業紹介センター事業 代の担い手の育成 年間紹介者数 22 安定した雇用の創出と次 代の担い手の育成 奨学金返還支援制度を活用した市内 1節 2205 8 14 13 92.9% 25 0.0% 0.0% 市民生活部 くらしサポート課 和泉市奨学金返還支援事業 企業への就職者数

R3実績 - H27基準値

達成率 =

R3実績 - R2基準値

達成率 =

重点施策

新旧の魅力が融合する観光の

章 節

2章

2節

R3実績 - R2基準値 R3実績 - H27基準値 達成率 = 達成率 = ×100 ×100 (計画後半) (計画全体) R7目標 - R2基準値 R7目標 - H27基準値 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%) 番号 成果指標(KPI) (計画後半) (計画全体) 担当部 担当課 取組事業 (基準値) 増減率 影響大 参考值 R7年度 R3年度 [R3~1 H28~ R元年度 前年度比 924,565 109.8% 1,201,846 1,281,083 1,015,089 1,595,000 環境産業部 産業振興室 0 市内主要15施設への来訪者数 13.5% 0.0% いずみの国観光おもてなし処の年間来 おもてなし処来館促進事業 14,451 11.799 12,134 102.8% 21,000 14,672 3.6% 0.0% 環境産業部 産業振興室 0 おもてなし処訪日旅行者来館促進事業 国史跡池上曽根史跡公園、国史跡和泉 黄金塚古墳等への年間来訪者数 史跡公園活性化事業 72,187 48,770 125,000 0 116,317 64,262 131.8% 20.3% 0.0% 生涯学習部 文化遺産活用課 史跡整備事業 池上曽根史跡公園及び大阪府弥生博 105,384 62,281 64,674 103.8% 113.800 4.6% 4.6% 環境産業部 産業振興室 0 ヒストリータウン事業 物館来館者数

23 地域資源を活用した観光 2章 2節 2301 産業の振興 23 地域資源を活用した観光 産業の振興 2章 2節 23 地域資源を活用した観光 産業の振興 2節 2303 2章 地域通訳案内士及び市民地域ボラン 23 地域資源を活用した観光 産業の振興 2章 2節 0 13 皆増 30 43.3% 43.3% 環境産業部 産業振興室 市民地域ボランティアガイド育成事業 ティアガイドの延べ育成数 宿泊施設の延べ建設数(令和3年度~ 24 新たな魅力づくりとまち 2節 2401 件 2章 100.0% 2 0.0% 0.0% 環境産業部 産業振興室 宿泊施設誘致事業 のブランド化の促進 久保惣記念美術 24 新たな魅力づくりとまち 和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア 生涯学習部 2節 2402 429,200 415,471 413,007 99.4% 535,000 0 2章 0.0% 0.0% 和泉・久保惣ミュージアムタウン推進事業 のブランド化の促進 内主要施設への来訪者数 環境産業部 。 産業振興室 南部リージョンセンター道の駅におけ 24 新たな魅力づくりとまち のブランド化の促進 2節 2403 147,000 134,857 149,063 110.5% 336,000 7.1% 環境産業部 産業振興室 道の駅利用促進事業 2章 7.1% 0 る農産物等売り上げ額 住み慣れた地域で安心して 総合医療センターにおける救急患者の受 1節 3章 暮らすことができる仕組み 8.5 25.7 23.8 21.4 89.9% 40.0 0.0% 41.0% 子育て健康部 健康づくり推進室 住み慣れた地域で安心して 高齢者や障がい者が安心して生活でき 市民アンケー 3章 1節 暮らすことができる仕組み 27.9 29.7 31.3 35.9 114.7% 35.0 100.0% 100.0% 市民アンケート る環境が整っていると思う市民の割合 住み慣れた地域で安心して 市内における大阪重点犯罪件数及びオー 3章 1節 暮らすことができる仕組み 575 379 385 101.6% 420 14.6% 14.6% 危機管理部 危機管理課 トバイ盗・自転車盗件数 25 感染症対策の推進と地域 健康づくり推進 2501 総合医療センター救急患者受入日数 日 子育て健康部 3章 1節 365 365 365 100.0% 365 100.0% 100.0% 和泉市立総合医療センター救急医療事業 医療の充実 26 支援を必要とする人への 相談支援体制の充実 1節 2601 高齢者見守り協力事業所の登録件数 90 155 172.2% 200 59.1% 59.1% 福祉部 高齢介護室 高齢者見守り協力事業所ネットワーク事業 3章 26 支援を必要とする人への サービス等利用計画のうち、セルフプ 2602 27.9 103.3% 3章 1節 30.0 31.0 20.0 100.0% 100.0% 福祉部 障がい福祉課 障がい者地域自立支援協議会等運営事業 相談支援体制の充実 ラン作成割合 26 支援を必要とする人への 相談支援体制の充実 就労訓練事業・就労体験の年間延べ利 3 3章 1節 2603 6 2 11 550.0% 26 37.5% 34.8% 市民生活部 くらしサポート課 0 生活困窮者就労訓練·体験事業 27 安心して生活できる防犯 体制の整備 3章 1節 2701 地域見守りの年間活動日数 日 242 243 243 246 101.2% 243 100.0% 100.0% 危機管理部 危機管理課 防犯ボランティア活動活性化事業 27 安心して生活できる防犯 3章 1節 2702 防犯教室・防犯啓発の年間活動回数 95 105 0 0 117 0.0% 0.0% 危機管理部 危機管理課 0 防犯啓発事業

 達成率 = (計画後半)
 R7目標 - R2基準値
 ×100
 達成率 = (計画全体)
 R3実績 - H27基準値
 ×100

 (計画後半)
 R7目標 - R2基準値
 ×100
 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は00%)

						(可國政士)	R7目標 -	1/2至十世			(和四三件)	11/12/35	H27基準値		(100/00년07場日18	100/0	基準値を下回る場合は0%)
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	コロナ 影響大	取組事業
3章	2節	災害に備える仕組みづくり	-	自主防災組織の設立数	団体	40	75	79	80	101.3%	147	1.5%	37.4%	危機管理部	危機管理課		
3章	2節	災害に備える仕組みづくり	1	地震や台風等の災害に対する備えがで きていると思う市民の割合	%	18.1	28.6	31.9	36.1	113.2%	35.0	100.0%	100.0%	市民アンケー ト	市民アンケート		
3章	2節	28 地域における防災体制の 強化	2801	防災訓練の年間実施回数		-	26	17	19	111.8%	44	7.4%	7.4%	危機管理部	危機管理課		自主防災組織等支援事業
3章	2節	28 地域における防災体制の 強化	2802	支援者が避難行動要支援者名簿を活 用して活動を行っている割合	%	0.0	30.2	19.7	27.6	140.1%	35.0	51.6%	78.9%	福祉部	福祉総務課	0	避難行動要支援者支援事業
3章	2節	28 地域における防災体制の 強化	2803	外国人市民向け防災講座の年間受講 者数	人	-	-	0	0	-	30	0.0%	0.0%	危機管理部	危機管理課	0	外国人市民防災啓発事業
3章	2節	28 地域における防災体制の 強化	2804	地域活動拠点の登録箇所数	箇所	-	-	66	69	104.5%	60	100.0%	100.0%	危機管理部	危機管理課		地域活動拠点備蓄支援事業
3章	2節	28 地域における防災体制の 強化	2805	感染症対策物資(マスク)の備蓄数	枚	-	-	38,740	48,500	125.2%	67,590	33.8%	33.8%	危機管理部	危機管理課		感染症対策物資備蓄事業
3章	2節	28 地域における防災体制の 強化	2806	戸別受信機の設置台数	台	-	169	169	211	124.9%	1,044	4.8%	4.8%	危機管理部	危機管理課		防災情報伝達体制整備事業
3章	2節	28 地域における防災体制の 強化	2807	中小企業BCP策定支援事業補助金の 年間交付件数	件	-	-	0	5	皆増	5	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室		中小企業BCP策定支援事業
3章	2節	29 消防体制の強化	2901	新消防本部庁舎完成	-	-	-	-	-	-	消防本部 庁舎完成	-	-	消防本部	総務課		北西部地域公共施設再編成事業
3章	2節	29 消防体制の強化	2902	消防団員数	人	362	351	352	347	98.6%	370	0.0%	0.0%	消防本部	総務課		消防団加入促進事業
3章	2節	29 消防体制の強化	2903	火災件数(過去5年間の平均値の件数)	件	43	40	36	36	100.0%	32	0.0%	63.6%	消防本部	予防課		火災予防事業
3章	2節	29 消防体制の強化	2904	救命入門コースの年間受講者数	人	127	603	159	242	152.2%	1,000	9.9%	13.2%	消防本部	警防課	0	応急手当普及啓発事業
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの 推進	3001	民間建築物の耐震化率	%	83.2	85.9	86.6	87.2	100.7%	95.0	7.1%	33.9%	都市デザイン 部	建築·開発指導 室		既存建築物耐震化推進事業
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの 推進	3002	耐震管率(耐震管+耐震適合管)	%	38.2	41.7	42.3	43.1	101.9%	47.2	16.3%	54.4%	上下水道部	水道工務課		水道管耐震化事業
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの 推進	3003	雨水管整備面積の割合	%	48.91	49.07	49.09	49.16	100.1%	49.23	50.0%	78.1%	上下水道部	下水道整備課		雨水管整備事業
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの 推進	3004	防災協力農地指定箇所数	箇所	-	3	2	5	250.0%	21	15.8%	15.8%	環境産業部	産業振興室		防災農地設置事業

						達成率 = (計画後半)	R3実績 - R7目標 -		×100		達成率 = (計画全体)		H27基準値 H27基準値	×100	(1000/ 1 7.0 H A H	1000/	######################################
						(DIEIK 17	K/日信 -	KZ基华恒			(BIELTH)	K/日信 -	HZ/基準恒		(100%超の場合は	100%、:	基準値を下回る場合は0%)
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	増減率(前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	コロナ 影響大	取組事業
4章	1節	みんなで取り組む連携・協働の まちづくり	-	町会連合会組織への加入率	%	59.4	55.4	54.0	49.3	91.3%	58.0	0.0%	0.0%	市長公室	広報・協働推進 室		
4章	1節	みんなで取り組む連携・協働の まちづくり	-	町会・自治会や近隣住民と十分にコ ミュニケーションが取れていると思う 市民の割合	%	42.3	44.0	40.2	39.4	98.0%	50.0	0.0%	0.0%	市民アンケー ト	市民アンケート		
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3101	市民ラウンドテーブルにおける年間延 べ参加人数	人	61	76	0	86	皆増	160	53.8%	25.3%	市長公室	広報·協働推進 室	0	市民ラウンドテーブル実施事業
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3102	市民活動支援制度年間支援団体数	団体	-	37	33	33	100.0%	62	0.0%	0.0%	市長公室	広報·協働推進 室		市民活動推進支援事業
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3103	ボランティア年間需給調整数	件	180	200	42	46	109.5%	290	1.6%	0.0%	市長公室	広報·協働推進 室	推進 ○ ボランティア活動支援事業	
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3104	空家バンクのマッチング件数	件			1	7	700.0%	5	100.0%	100.0%	都市デザイン 部	建築住宅室		空家バンク事業
4章	1節	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	3201	和泉市地域福祉総合相談員(CSW)の 地域連携活動数	件	208	219	95	110	115.8%	220	12.0%	0.0%	福祉部	福祉総務課	0	和泉市地域福祉総合相談員(CSW)配置促進事業
4章	1節	32 地域で地域課題を解決す る支えあいの仕組みづくり	3202	和泉市認知症高齢者等SOSおかえり ネットワーク見守り登録者数	人	652	1,085	1,185	1,464	123.5%	1,500	88.6%	95.8%	福祉部	高齢介護室		SOSおかえりネットワーク事業
					-				小学校					_			
4章	1節	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	3203	全国学力・学習状況調査 生徒質問紙「今 住んでいる地域の行事に参加しています	%	54.7	54.7 43.5		43.9 中学校	100.9%	60.0	2.4%	0.0%	- 教育・こども部	学校教育室	0	いずみあいさつ運動事業
		る文元のの「の八山地の)ラマッ		か」の肯定的回答の割合	%				甲子仅					_			
					70	35.7	39.5	34.2	32.3	94.4%	40.0	0.0%	0.0%				
4章	1節	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	3204	青少年を非行から守る月間事業に参加している市民の数	人	303	150	0	0	-	300	0.0%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	0	青少年を非行から守る市民大会開催事業
4章	2節	多様性を認め合う人権尊重の まちづくり	-	人権が尊重されるまちづくりが進んで いると思う市民の割合	%	32.6	29.9	32.7	35.1	107.3%	35.0	104.3%	100.0%	市民アンケート	市民アンケート		
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊 重のまちづくり	3301	手話等講座及びあいサポーター研修の 参加者数	人	-	187	486	811	166.9%	2,500	16.1%	16.1%	福祉部	障がい福祉課	0	手話等講座実施事業 あいサポート運動事業
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊 重のまちづくり	3302	人権啓発講座等への年間参加者数	人	1,648	1,252	207	428	206.8%	1,920	12.9%	0.0%	総務部	人権·男女参画室	0	人権啓発講座事業
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊 重のまちづくり	3303	「モアいずみフォーラム」「男女共同参画週間事業」の定員に対する参加率 (平均)	%	106.0	79.5	-	54.0	皆増	100.0	54.0%	54.0%	総務部	人権·男女参画 室	0	男女共同参画社会づくりフォーラム事業
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊 重のまちづくり	3304	和泉市審議会等への女性委員の参画 率	%	32.8	29.2	30.2	31.9	105.6%	40.0	17.3%	0.0%	総務部	人権·男女参画 室		女性委員参画推進事業

資料1

R3実績 - R2基準値 R3実績 - H27基準値 達成率 = 達成率 = ×100 ×100 (計画後半) (計画全体) R7目標 - R2基準値 R7目標 - H27基準値 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%) (計画後半) 「R3~] (計画全体) 「H28~] 章 節 重点施策 番号 成果指標(KPI) 担当部 担当課 取組事業 (基準値) 影響大 参考値 増減率 R7年度 R3年度 前年度比 市政の情報を十分に得ることができてい ると思う市民の割合 市民アンケー 5章 1節 57.5 41.7 44.9 57.0 126.9% 45.0 都市経営の促進 100.0% 100.0% 市民アンケート 34 既存ストックの適正管理 道路橋の延べ修繕補修橋梁数(令和3 都市デザイン 5章 1節 3401 2 4 200.0% 8 土木維持管理室 33.3% 33.3% 道路橋長寿命化修繕事業 の促進 年度~令和7年度) 道路の延べ舗装修繕補修区間数(令和 3年度~令和7年度) 34 既存ストックの適正管理の促進 都市デザイン 3402 2 5 250.0% 10 土木維持管理室 5章 1節 37.5% 37.5% 道路舗装修繕事業 34 既存ストックの適正管理の促進 3403 未利用地の売却率(令和3年度~令和7年度) 未利用地解消事業 5章 1節 **▲** 40.8 100.0 総務部 総務管財室 **▲** 4.8 0.0% 0.0% 346 3404 市営住宅長寿命化計画に基づく、建替 え戸数(令和3年度~令和7年度) 34 既存ストックの適正管理の促進 都市デザイン 戸 5章 1節 0.0 0.0 0.0 (170戸に集 建築住宅室 市営住宅改修事業 納) 35 市民の信頼にこたえ、都 市経営を支える行財政運営 5章 1節 3501 経常収支比率 95.3 96.8 96.2 95.8 99.6% 総務部 財政課 95.0 33.3% 0.0% 経常的経費抑制事業 税務室 納税催告事業 5章 1節 3502 市税の徴収率 96.44 98.20 98.00 98.66 100.7% 99.14 57.9% 総務部 滞納債権整理回 82.2% 市経営を支える行財政運営 納付推進事業 加浦 35 市民の信頼にこたえ、都 市経営を支える行財政運営 5章 1節 3503 新たに資格を取得した延べ職員数 0 42 58 71 122.4% 100 31.0% 71.0% 市長公室 人事課 職員資格取得推進事業 35 市民の信頼にこたえ、都 市経営を支える行財政運営 窓口業務における電子申請等の利用 3504 5章 5 220.0% 15 1節 11 60.0% 60.0% 市長公室 政策企画室 DX推進事業 個人情報の訂正・削除件数(請求に基 35 市民の信頼にこたえ、都 市経営を支える行財政運営 1節 0 100.0% 5章 3505 0 0 0 0 100.0% 100.0% 総務部 総務管財室 個人情報保護事業 づくもの) 35 市民の信頼にこたえ、都 市経営を支える行財政運営 5章 1節 3506 窓口対応の安心感及び満足度 84.8 89.0 90.0 97.5 108.3% 91.0 100.0% 100.0% 市民生活部 市民室 窓口サービス向上事業 35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営 広報·協働推進 3507 いずみメール・和泉市LINE登録者数 25,521 86,150 12,193 337.6% 25,000 100.0% 100.0% 市長公室 市政情報発信事業

資料の見方

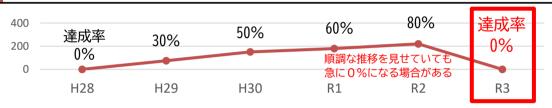
計画後期 (R3~R7) の5年間で達成率100%をめざす

・ 各指標の達成率は20%ずつ向上することが望ましい

次の指標は達成率0%として取り扱う

- ・ 実績値 (R3) が基準値 (R2) と同値または下回っている指標
- ・ 施設の設置や助成対象の拡充など、事業の実施を目標としているものの、実施予定が R4以降のため目標未達成となっている指標
- ・ 概ね基準値の維持を目標としているが、維持できていない指標

|順調な指標でも、必ずしも右肩上がりとはならない

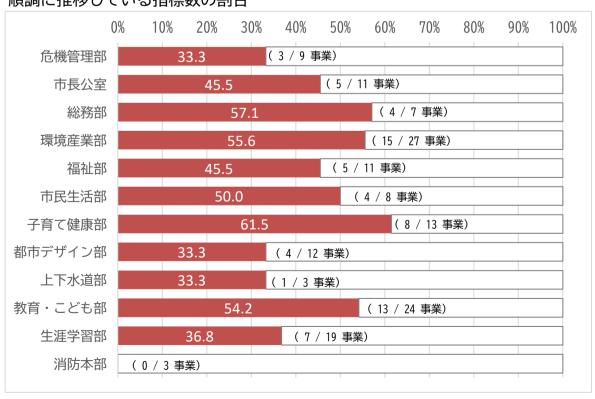


前半(H28~R2)で達成済の指標は除く

・ 総合計画の改訂を行い、令和3年度から後期計画が始まっているため、達成済の指標は除く

各部の状況

順調に推移している指標数の割合



【参考】各部の状況 (新型コロナウイルスの影響が大きい事業を除く)

順調に推移している指標数の割合



令和3年度 順調に推移している事例の一部

資料3

第1章

0605 全国学力・学習状況調査「授業の内容はよく分かりますか」の肯定的な回答の割合

教職員資質向上事業

内 ・研修経費等を補助する ・初任者研修等を実施する



これまで、市教委「STF和泉の学びプロジェクトチーム」を中心に、各学校の授業改善を指導し推し進めるとともに、各学校においても、公開授業をはじめとする各種研修を継続的に実施した。また、本市独自の児童生徒へのアンケートの数値結果及び推移を見ながら、PDCAサイクルに基づく授業改善を推進してきたことが、達成率の向上につながっていると考える。

今後は、「授業がよく分かる」という定性評価だけでなく、全国学力・学習状況調査の定量結果につなげるため、 リーディングスキルテストの視点を活かした授業改善や、AIドリルによる個別最適な学習等、新たな学力向上施 策にも取り組んでいく。

第2章

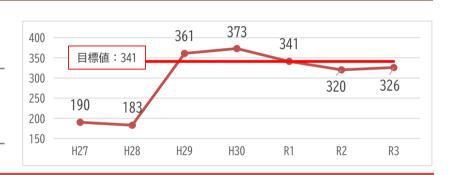
2003 商店街加入店舗数

商店街活性化事業

目 経営支援等を通じた魅力ある個店 的 や商店街全体の賑わいの創出

内容

- ・商店街組合イベントへの補助
- ・パンフレット作製補助
- ・イルミネーションの設置等



商店街加入店舗数が増加した要因としては、平成29年に「木楽座ストリート」が誕生し、イルミネーションを実施 するなどの取組を行ったことによる。

今後とも、「木楽座ストリート」を中心に、市の実施する商店街での創業補助金事業や、単位商店街の加入店舗拡 大の取組を支援することにより、加入店舗数の増加に努めていく。

第3章

2802 支援者が避難行動要支援者名簿を活用して活動を行っている割合

避難行動要支援者支援事業

目 災害から避難することが困難な人 的 のための支援体制整備

内容

・避難行動要支援者名簿の作成

・地域の支援者への研修の開催・同意台帳の登録、更新 等



市民の防災意識の向上に加え、市の取組として、地域の支援者のアンケートを実施し、支援者への事業説明会の内 容の見直しや、手引きなどを作成し、各支援者に配布し周知を図れたことにより数値が上昇したと考える。 新たな取組として、個別支援計画の作成を推進しており、作成された計画をより実効性のあるものにできるよう要 支援者と地域の支援者等のマッチングにも取り組んでいる。

第4章

3202 和泉市認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク見守り登録者数

認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク見守り事業

目 メール配信システムでの情報提供 的 による行方不明者の早期発見

内 ・対象者への事前登録の依頼 容 ・本事業の周知



利用登録の申請時及び認知症サポーター養成講座開催時に当該事業の案内の強化や昨年11月にLINEにておかえりネットワークの周知啓発を実施したことにより、数値が上昇したと考える。 今後も、定期的にLINE周知を継続していきながら、登録者数増加に向けて、効果的な周知啓発方法を検討していく。

第5章

3502 市税の徴収率

納税催告事業・納税推進事業

目 税負担の公平性確保のための市税 的 の納期内納付の推進

内容

・口座振替の利用のお願い ・コンビニ納付、クレジット カード納付の周知



給与所得者に対する個人住民税について、事業者による特別徴収を推進する取組を行った成果として未納・滞納のリスクを減らすことができている。今後事業者による特別徴収について引き続き啓発を行うとともに、金融機関や市の窓口払いが全体の70%を超える状況であることから、納付忘れがない口座振替の案内や自宅で24時間納付できるキャッシュレス納付の周知を図り、収納率の更なる向上を図る。

■ 指標選定の基準(令和3年度)

- ・各章から1指標をピックアップ
- ・後期計画達成率20%、計画全体達成率60%を上回っている指標
- ・現状維持を目標とする指標は除外
- ・達成率100%に到達している指標は除く

令和3年度 成果指標一覧(市民アンケート)

資料4-1

達成率 = R3実績 - H25基準値 R7目標 - H25基準値 ×100 (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0

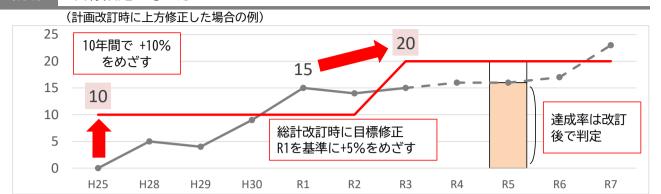
					(100%	超の場	合は100	%、基準	値を下	回る場合	合は0%)		(単位:%)
章	節	重点施策	成果指標(KPI)	基準値 (H25)	H28	H29	H30	R元	R2	R3	増減率(前年度比)	<u>目標値</u> R7	達成率
	1節	「結婚・出産・子育 て」に夢や希望が持 てる環境づくり	安心して子育てができる環境が 整っていると思う市民の割合	41.8	49.4	53.5	55. 2	54. 7	59.6	64. 2	107. 7%	60.0	100.0%
	2節	社会に貢献できる人 材輩出に向けた教育 環境の充実	小・中学校における教育環境が 整っていると思う市民の割合	41.1	42.5	43.5	44. 0	47.5	47.1	50.7	107.6%	55.0	69.1%
	3節	一人ひとりが輝くた めの生きがいづくり	生涯学習の機会に親しめる環境が 整っていると思う市民の割合	33.5	31.3	33. 1	32.8	33. 1	36.0	37.5	104. 2%	40.0	61.5%
	ישכ	支援	和泉市の歴史文化に誇りをもって いる市民の割合	50.9	47.3	46.3	46. 3	44. 0	48.5	53.9	111.1%	50.0	100.0%
	4節	健康寿命の延長を めざした健康づく りの推進	健康を保持するための環境が整っ ていると思う市民の割合	-	-	57.5	61.0	62. 4	64.6	69.1	107.0%	65.0	100.0%
1章			良好なまちなみや快適な住環境づ くりが進んでいると思う市民の割 合	45. 4	52. 2	52. 2	52. 4	51.0	55.9	58. 0	103.8%	55.0	100.0%
	5節	外出機会を創出する うるおいのある都市 基盤の整備	公園等の緑に接する環境が整って いると思う市民の割合	51.5	53. 2	57.8	58. 9	57. 7	60.9	62.9	103.3%	65. 0	84.4%
			安全に利用できる道路や交通手段 が整備されていると思う市民の割 合	35.8	33. 7	37.7	39.3	33. 7	41.0	42.6	103.9%	40.0	100.0%
			環境にやさしい暮らしを営むこと ができていると思う市民の割合	43.9	66.6	58.1	59. 4	57.8	60.2	60.9	101.2%	65.0	80.6%
	6節	環境に配慮した快適 なライフスタイルの 確立	ごみのリサイクルが進み、衛生的 なまちづくりが行われていると思 う市民の割合	57. 2	61.5	62. 1	63. 0	64. 1	62.3	64. 7	103.9%	70.0	58.6%
			下水道や浄化槽の整備により、衛 生的で快適な暮らしを営むことが できていると思う市民の割合	67. 6	60.3	60.8	62.9	59.6	64. 0	63.5	99. 2%	65.0	0.0%
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創	市内の商工業に活力があると感じる市民の割合	19.3	18.4	21.0	23.8	25. 2	23. 2	27. 0	116.4%	30.0	72.0%
2早	LIX I	出	市内の農林業に活力があると感じる市民の割合	16.8	18.3	16.6	19.7	20.3	22.3	23. 2	104.0%	25. 0	78.0%
3章	1節	住み慣れた地域で安 心して暮らすことが できる仕組みづくり	高齢者や障がい者が安心して生活 できる環境が整っていると思う市 民の割合	27. 9	23.7	29.3	28. 7	29.7	31.3	35.9	114.7%	35.0	100.0%
J早	2節	災害に備える仕組み づくり	地震や台風等の災害に対する備え ができていると思う市民の割合	18. 1	27. 2	27.0	24. 5	28. 6	31.9	36.1	113. 2%	35.0	100.0%
4章	1節	みんなで取り組む連 携・協働のまちづく り	町会・自治会や近隣住民と十分に コミュニケーションが取れている と思う市民の割合	42.3	49. 2	46.6	42. 4	44. 0	40.2	39. 4	98.0%	50.0	0.0%
+字	2節	多様性を認め合う人 権尊重のまちづくり	人権が尊重されるまちづくりが進 んでいると思う市民の割合	32. 6	32.8	31.5	30.7	29.9	32.7	35. 1	107.3%	35.0	100.0%
5章	1節	都市経営の促進	市政の情報を十分に得ることがで きていると思う市民の割合	57. 5	34.9	40.0	43.0	41.7	44.9	57.0	127.0%	45.0	100.0%

令和3年度 成果指標達成状況(市民アンケート)

資料4-2

説明

目標設定の考え方



第1章

定住の促進

第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実

安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合



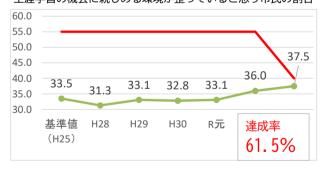
小・中学校における教育環境が整っていると思う市民の割合



第3節

一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援

生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合



和泉市の歴史文化に誇りをもっている市民の割合



第4節

健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進

健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合



第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備

良好なまちなみや快適な住環境づくりが進んでいると思う市民の割合

60.0 58.0 55.0 52.2 52.2 52.4 51.0 50.0 達成率 45.4 100.0% 45.0 基準値 H28 H29 H30 R元 R2 R3 (H25)

公園等の緑に接する環境が整っていると思う市民の割合

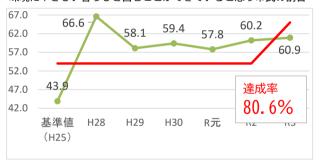


安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合



第6節 環境に配慮した快適なライフスタイルの確立

環境にやさしい暮らしを営むことができていると思う市民の割合



ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われていると思う市民の割合



下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができていると思う市民の割合



第2章

にぎわいの促進

第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

市内の商工業に活力があると感じる市民の割合



市内の農林業に活力があると感じる市民の割合



第3章 安全・安心の促進

第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

第2節 災害に備える仕組みづくり

高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合



地震や台風等の災害に対する備えができていると思う市民の割合



第4章 支えあい・協働の促進

第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり

第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり

町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合



人権が尊重されるまちづくりが進んでいると思う市民の割合



第5章 都市経営の促進

第1節 都市経営の促進

市政の情報を十分に得ることができていると思う市民の割合



KPIの達成状況

達成率が順調に推移しているのは4割程度

市民アンケート

市民の満足度は全体的に上昇傾向にあり、達成率100%の指標も多いが、 満足度自体が低い(50%に満たない)指標も多い

分析

章	分析	
1章(定住) 5章(都市経営)	【市民アンケート】 市民の満足度が <mark>概ね50%を超えている</mark> 【KPI達成状況】 順調に推移している指標が <mark>比較的多い</mark>	和泉の強
2章(にぎわい) 3章(安全・安心) 4章(支えあい・協働)	【市民アンケート】 市民の満足度が50%を超える指標がない 【KPI達成状況】 順調に推移している指標が少ない	和泉の課

市 な

市 뫮

考察

- OKPIの達成状況と市民アンケートの結果に関連している
- ○強みを強化するために
 - ・市民満足度は50~60%台であり、さらに高めるため、継続した取組が必要
- ○課題を克服するために
 - ・KPI達成に向け、令和3年度以上に取組を強化する必要がある

令和4年度 和泉市外部評価委員会 答申

令和4年7月

和泉市外部評価委員会

(和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合計画に係る事務事業の評価等に関する外部評価委員会)

第1 はじめに

和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合計画に係る事務事業の評価等に関する外部評価委員会は、和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)及び和泉市総合計画に係る事務事業に関して、行政外部の第三者視点からの評価、検証等を行うため設置している。

平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、国と地方が一体となって、 地方創生の取組を推進しており、和泉市においても、国交付金を活用し、地方創生に資 する事業を令和3年度に実施している。

国交付金を活用した事業については、事業の目標となる指標(重要業績評価指標(KPI*))をあらかじめ定め、事業終了後には事業の効果検証を行うことが求められており、この効果検証について市長から本委員会に諮問を受け、評価を実施した。

この答申は、地方創生関係交付金を活用して実施した事業に関して、委員会が事業担当課との質疑を行い、当該事業の総合戦略への有効性等について判断した評価結果をまとめたものである。

※KPI·····Key Performance Indicator の略

第2 評価対象事業

評価対象事業は、「第4 評価の結果」にある「令和3年度 地方創生関係交付金事業評価結果一覧」に掲げる2事業である。

第3 評価の方法

事業担当課から提出された事業評価シート及び補足資料並びに委員会での説明に基づき、次の2つの事業について、検証及び評価を行った。

(1) 評価対象事業

- ①道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業
- ②交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業

(2) 事業の評価項目

令和3年度の取組に対する評価

(3) 事業の評価方法

各委員が点数評価を行い、全委員の平均点が2.5以上であれば有効とする。

①各委員の点数評価

点数	交付金事業の効果	内容
4	非常に効果的であった	事業計画・事業内容が、次年度の全て(3つ)の KPI の達成に期待できる場合
3	相当程度効果があった	事業計画・事業内容が、次年度の大半 (2つ)の KPI の達成に期待できる場合
2	効果があった	事業計画・事業内容が、次年度の一部(1つ)の KPI の達成に期待できる場合
1	効果がなかった	事業計画・事業内容が、次年度の KPI の達成に期待できる とは言い難い場合



②外部評価委員会としての評価結果

平均点	外部組織による効果検証
2.5以上	取り組んだ内容は、有効であった
2.4以下	取り組んだ内容は、有効でなかった

第4 評価の結果

令和3年度 地方創生関係交付金事業 評価結果一覧

1410 千皮 地方周上因外又自业事。	
	取組に対する評価
取組事業名	1 取り組んだ内容は、有効であった
	2 取り組んだ内容は、有効でなかった
①道の駅いずみ山愛の里施設活 性化事業	1 (有効)
②交流拠点施設を活用したまち の賑わい創出・交流人口拡大 事業	1 (有効)

※各取組事業に対する評価の詳細については、次ページ以降の個別評価に記載。

事 業名 ① 道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業 令和3年度の取組に対する評価 (1) | 取り組んだ内容は、有効であった 評 価 取り組んだ内容は、有効でなかった 評 3. 4点 / 4点 価 (各委員の評価点の平均。2.5点以上の場合は有効) 点 ○従来の道の駅は十分な品揃えや出品数が確保できない状況であったが、施設整備により、 新鮮な肉や魚など豊富な食材を取りそろえることができ、地元食材を使った料理やスイー ツが楽しめる環境が整ったことは評価できる。 ○また、荷捌場の設置により地元農家にとって出荷しやすい施設となったことで出荷者が増 上 加し、今後のコミュニティ形成や農林業の活性化が期待できる。 記 の ○近隣の道の駅にはない大型複合遊具の設置や、野菜の移動販売等の新たなサービスの導入 意 により、他施設との差別化が図れるため、来訪者の増加が期待できる。 見 ○市内外からの集客に向け、市広報や市ホームページのみに頼るのではなく、LINEなど 玾 の各種SNSを積極的に活用して周知を行っている。 由 ○市内の農業者が年々減少していく中で KPI を達成するには、市としても農業者の育成や支 援など、更なる努力が必要である。 ○交流人口を増やした結果、どのように購買意欲に繋げていくのかが不明瞭であるため、KPI のひとつの農産物の売上金額の大幅な増加は、現時点では楽観視できない。

今後の取組に対するアドバイス

〇広報

• 認知を高めるための広報戦略を設定したうえで、SNS やホームページといったメディアを活用するとともに、自治会、子ども会など各種団体に出向き積極的に周知活動を実施されたい。

O運営体制の強化

• 農産物の品揃えに関して、まだ他と比べて少ないように感じることから、農産物の入荷など運営 体制の強化を進められたい。

O指定管理者のチェック

• 継続的に売上を増加させるためにはリピーターを増加させる必要があり、定期的なイベントの 実施、季節に対応した品揃えやメニュー開発を行うなど、運営会社に任せきりにせずに、常にプロモーションに対して担当者が関与されたい。

O他施設との差別化

• 近くの道の駅 2 ヵ所に比べて規模的に劣勢な面があることから、他の道の駅にない特色のある 品物や料理の販売に注力されたい。

O効果検証

- 周知活動においては SNS を活用し、フォロワーや投稿回数などに KPI を設けて、目標達成のための策を講じられたい。
- イベントは実施するだけでなく、集客状況を評価し、必ず PDCA サイクルを回し続けられたい。

事 業名 ② 交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業 令和3年度の取組に対する評価 (1) | 取り組んだ内容は、有効であった 価 取り組んだ内容は、有効でなかった 2 評 3点 / 4点 価 (各委員の評価点の平均。2.5点以上の場合は有効) 点 ○文化的価値の高い久保惣記念美術館の徒歩圏内に集客の相乗効果が見込まれる施設(古民 家)を整備したことは、交流人口を増加させる上で、非常に有効である。 ○この古民家については、遊休資産を効果的に活用しており、交流人口の増加という目的に とどまらず、空き家問題への対応や景観の維持など、都市環境の整備にも有効であると評 上 記 価できる。 ഗ ○この古民家と「エコールいずみ」を活用した交流拠点施設のそれぞれでイベントを開催す 意 ることにより、年間来場者数、年間施設利用数の2つのKPIを達成できる見込みがある。 見 ○新たに文化の発信拠点ができたことにより和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内で美 玾 術とまちの調和が進み、今後の公民連携のまちづくりの促進が期待できる。 由 ○令和4年度の KPI のうち「和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムの売上額」に ついては、イベントでのチケット販売等が想定されているが、令和4年度は試行実施、令和 5年度から本格実施となっていることから、令和4年度の指標は0となっている。したが

今後の取組に対するアドバイス

って、達成見込みが評価できないため評価点「3点」を最高点とした。

〇広報

• SNS やホームページを活用した積極的な周知活動を実施されたい。近隣の大学と共同でイベント を開催することなども広報手段として検討されたい。

O交流人口の充実

• 来訪者の囲い込みを図るためにも、交流拠点施設共有の割引券の発行や、拠点間の移動手段を充実されたい。

O利用者増加の取組

• 利用者が固定化したり一時的な集客にならないよう、芸術、文化、音楽など多彩なイベントを実施するため、年間の開催計画を策定されたい。

O効果検証

- 継続的な交流人口の増加を図るため、施設の活用方法・取組み等によりどのくらいの人流効果を 生むのか検証を重ねられたい。
- WEB 交流サイトの具体的な活用プランの検討に加え、SEO 対策、効率的な情報発信やビジネスマッチングの方法の具体的なプランと、それを検証する体制を構築されたい。

関係資料1

地方創生関係交付金 事業評価シート

.	NII4. 👝	道の駅し	 \ずみ山愛の)里施設	事業期間			令和3年度	 [
事 :	業名	活性化事			所管課		産業振	興室 ・ 広報・	協働推進室				
交付の概	才金事業 既要		化につなげると				が集う施設とし や地場産品の原						
	きの背景 バ目的	としては、次・荷捌き所が・周辺に子ど・売上減少に・造の駅運営・の道の駅運営・の道の駅を	のとおり。 がない構造のたい構造のたいではが遊べる施い出荷者の を受け、同一勢に関して十分ない。 があるが、あるが、はいますが、 はいますが、 がある。 はいますが、 はいまがはいまがはいまが、 はいまがはいまがはいまが、 はいまがはいまがはいまがはいまがはいまがはいまがはいまが、 はいまがはいまがはいまがはいまがはいまがはいまがはいまがはいまがはいまがはいまが	め、十分な品設がなく、購出荷意欲がは地内の貸館は実績やノウ	品揃えや出品買力が高い- 買力が高い- 低下し、出品施設である「 ハウを有して :設としてリニ	数が確保 子育て世 数部リー いない。 ューアル	代の利用が少 に減少する悪循 ジョンセンター	ない。 環が生じてい 」の指定管理者 農産物等の販	る。 者が担ってお				
		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	予	増築工事	188,608,000			決	増築他工事	169,033,510					
	r	多目的広場改修工事	34,386,000				多目的広場改修工事	30,369,789					
	算	駐車場改修工事	22,854,000			算	駐車場改修工事	24,459,901					
			計		245,848,000	00 富十 223							
	取組	10名称 :	道の駅 いず	み山愛の里	增築等工事								
令和3	取組の 内容 後組	に荷捌き所でする。 〇子広場に: 〇子広場に: 〇本確保するためでない。 〇道の駅リープもに、オープ	ニングイベント	は農林産物直を図るため、設置する。 駐車場の安の改修を行う。	売所を建築 敷地内の多 全性(導線) 、広報いず。	来訪者(世代など購買 〇農産物等の 化及び農林業 〇直売所、遊	NSなどを活用 ト。	者を呼び込むは、少、地元農家はる。 整備により、地帯在しやすい	でである。 その経営安定 地元農家が出 で環境を整備し に周知するとと			
年度の	取組		展開し、地域全 道の駅 いず										
取組							○民間 /古 ハ	ウた汗か! ア単	単 产 物 笙 の 吉	上増加を図る			
	取組の		の販売に関し- 者を指定管理			取組の 意図・ 目的				生活がで図る			
	内容	〇市から指5 業者の収入 きる体制を構	定管理料(委託 により運営する 構築する。	E料)を支払れることで、持続	つず、民間事 続的に経営で	日間事 取組の 実績・ 成果 〇府内において野菜等の販売実績を有し、売上増加 の提案を行った指定管理者を新たに選定した。 〇指定管理者の費用負担により飲食スペースの拡充 を図った。							
	今後の 取組	や売上の増設 ・野菜等の移・地場産品を ・年間を通じ	者から提案がたかい。 加、施設の活性を動販売や集存 活かした新商 た集客イベント ジ、SNS、チラ	生化につなけ おなど新たな 品開発 〜の開催	゛る。 サービスの導	入	るよう、指定管	理者と緊密に	連携を図るこ	とで、来訪者			

		KDI		基準値			目標	票値		·			
		KPI		R元	F	13	R	4	R	5			
K					1	28,000	1	53,600	1	66,400			
Ī	レジ客数(人)			128,000			前年	度比	•				
<u></u>					+0	0%	+25,600	120%	+12,800	108%			
重要業					1	20,000	2	06,400	2	49,600			
業	農産物等の売上金	注額(千円)		120,000			前年	度比	Į.				
績評					+0	0%	+84,600	172%	+43,200	121%			
価					612,000		738,000		866,000				
指標	出荷点数(品)			612,000			前年	度比					
一 で					+0	0%	+126,000 121%		+128,000	117%			
	総合戦略における	基本目標	市内主要15	市内主要15施設への来訪者数									
	位置付け	数値目標	基準値 R元	基準値 R元:1,281,083人 → R7:1,595,000人									
		評	価			評価項	里由						
所管課の評価	令和3年度における 取組の効果	B 効果的だ	った	性化及び産業振興の 〇農産物等の販売ノ)直売所、遊具、駐車場の整備及び飲食スペースの改修により、地域の活 住化及び産業振興の拠点施設として必要な環境を整備することができた。)農産物等の販売ノウハウを有する民間事業者を指定管理者に選定したこで、地場産品の充実や売上増加が見込め、来客の増加による交流人口の								

事業名		交流拠点施設を活用したまちの賑わ事業期間					令和3年度 ~ 令和5年度				
		い創出・交流	人口拡大事	業	所管課		久保惣記念美術館				
交付金事業 の概要		○久保惣記念美術館は、近隣市との差別化を図ることができる本市の重要な資産であり、これまでも、美術品の展示のみならず、各種イベント等を開催することにより、交流人口の増加による市全体の賑わいの創出を図ってきた。 〇本事業では、この取組をさらに発展させ、地域住民とアーティスト等が交流できる交流拠点施設を設置するとともに、WEB交流サイトによって、効率的な情報発信、ビジネスマッチング等を行うことで、継続的な交流人口の増加を目指す。									
事業の背景 及び目的		〇本事業の前身事業では、「アーティストと地域住民によるパブリックアートの設置」、「地域住民と一体となったアートイベントの開催」等を行い、美術館を中心としたエリアブランド価値を向上させ、交流人口の増加により市全体の賑わいの創出につなげることができた。 〇一方、交流人口の増加もイベントと連動した一過性のものになってしまうなど課題も見られたことから、本事業では人々がアートに親しみ、アーティストやクリエイターが恒常的に活動・活躍できる場をつくり、継続的な交流人口の増加を図る。									
		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	予	負担金	8,540,000			決	負担金	8,092,160			
	算			***************************************		算					
	21		計		8,540,000			計		8,092,160	
	取糺		古民家を活用	月した交流拠	L点施設						
令和3	取組の 内容	してリノベーシ 験教室を開催	産となっている レョンし、創作活 皆することで、ク を促し、まちの鬼	動やアート= リエイターと	ドャラリー、体 地域住民、来	、体 スポリング派人口の増加を図る。			ミュージアムタらない継続的		
	今後の 取組	実績・							セミナー等が開		
年度	Hiz śl										
の	4X利	双組②名称 : 音楽を活用した交流拠点施設 									
取組	取組の	〇商業施設「エコールいずみ」等のイベン き店舗等の既存スペースを『商業エリア』 芸術交流拠点』として位置づけ、アーティ		等を活用した	取組の 意図・ 目的	ショップ等が閉み」等で設け	、アートフェステ 開催できる環境 、一過性に留ま の増加を図る。	を商業施設「	エコールいず		
	内容	イターが定期	的に活動・活躍できる場所 しみ、また作品を発表でき		、人々がアー	取組の 実績・ 成果	-				
	今後の 取組	〇11月からエコールいずみ内のアムゼ広場やセントラルコート、空き店舗、オアシス(いずみ障がい者ふれあいプラザ) 等でアーティスト等の作品発表会やワークショップ、体験教室等の各種イベントを開催する。									

	取組③名称 : WEB交流拠点の導入											
令和3年度の取組	取組の内容	○ミュージアムタウン内の幹線道路沿いにある空きスペース等を候補地として、タウンの見所やアーティストの作品等の展示案内等、様々な情報発信の拠点となる施設を設置する。 ○コンソーシアムのWEB交流サイトを導入し、活動内容やアーティストやクリエイター等の情報を広く発信し、企業や団体等とのビジネスマッチング等を図る。			ゥアーティスト 信の拠点 <i>と</i> な	取組の 意図・ 目的	視界に入 マーク化 OWEB3 チングに。	る看板 をめざす。 交流 サイ よる協業	が果でタウ トでは異 や企業等	ンの理解 業種間交流 からの受	通行者にE 度向上及 流やビジネ 注(デザイ 業の収益化	びランド ・スマッ ン業務
					取組の 実績・ 成果	OWEB交流サイトを導入し、コンソーシアムの活動内容、アーティストやクリエイターなどの情報、ミュージアムタウン内の魅力情報等について情報発信した。			ージア			
	今後の 取組									で導入		
	KPI			基準係	直	目標値						
				R元		R	3	R4 R5		5		
K P		交流拠点施設への年間来場者数(人)			0 1,790					3,080		
I	∥ 交流抽 ∥				0	0 前年度比		I		1		
							ا بر ا	Ο%			1 1 200 1	172%
重							+0	0% 0	+1,790	皆増 50	+1,290	172% 100
重要業	交流技	処点施設の年	E間利用数(回	1)	0		+0	0% 0	,	50 度比	+1,290	172%
重要	交流抽	処点施設の年	E間利用数(回	1)	0		+0		,	50	+1,290	
重要業績評価			F間利用数(E				- 00	0	前年 +50	50 度比 皆增 0		100
重要業績評価指標	和泉・	久保惣ミュー		,	0		- 00	0	前年 +50	50 度比 皆増		100
重要業績評価指	和泉・コンソ	久保惣ミュー	-ジアムタウン 5上額(千円)			者数	+0	0 0% 0	前年 +50	50 度比 皆増 0	+50	200%
重要業績評価指標	和泉・コンソ	久保惣ミュー ーシアムの引 略における	-ジアムタウン も上額(千円) 基本目標	市内主要15版	0		+0 +0	0 0% 0	前年 +50	50 度比 皆増 0	+50	200%
重要業績評価指標	和泉・コンソ総合戦	久保惣ミュー ーシアムの引 略における	-ジアムタウン も上額(千円) 基本目標 数値目標	市内主要15版	0		+0 +0	0 0% 0	前年 +50 前年 +0	50 度比 皆増 0	+50	200%
重要業績評価指標	和泉・コンソ 総合戦略位置付日	久保惣ミュー ーシアムの引 格における ナ	-ジアムタウン も上額(千円) 基本目標 数値目標	市内主要15抗 基準値 R元 価	0	→ R7: リノベーシ ができた。 い継続的 「備されて 内容を広く	+0 +0 1,595,000 ョンが完了 今後、 うく いなかった	0 0% 0 0% 人 評価理 に、ト・交流	前年 +50 前年 +0 上由 ティスト等に ティストの増 ーシアムの	50 度比 8 6 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 9 8 9	+50 +1,434 +1,434 +1,434 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	100 200% 1,434 皆増

関係資料2

1 開催経過

口	日時	内容
第1回	4月25日(月) 午後2時	・委員の委嘱、諮問 等・評価対象2事業の担当課説明及び質疑応答
第2回	5月23日(月) 午後2時	・評価対象2事業の評価

[※]答申は、委員長取りまとめの後、各委員が確認。

2 委員名簿(敬称略)

役 職	所 属	氏 名
委員長	桃山学院大学 経営学部 教授	辻本 法子
副委員長	和泉商工会議所 副会頭	中尾 達
委員	池田泉州銀行 和泉支店 支店長	大野 博和
委員	株式会社KADOKAWA デジタルコンテンツ局 ウォーカー事業部 WEB コンテンツ第 2 編集部 編集長	山田 孝一
委員	公募市民	川口 咲紀

3 和泉市外部評価委員会規則 (平成 24 年和泉市規則第 53 号)

(趣旨)

第1条 この規則は、和泉市附属機関に関する条例(昭和32年和泉市条例第43号)第2条 の規定に基づき、和泉市外部評価委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関 し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の設置)

第2条 委員会は、別表に定めるところにより、行政外部の第三者視点からの評価、検証等を行う市の施策又は事業ごとに設置することができる。

(担任事務、組織等)

- 第3条 委員会の名称、担任事務、組織等は、別表に定めるとおりとする。
- 2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。
- (1) 学識経験者その他専門的な観点から評価を行う知識経験を有すると市長が認める者
- (2) 公募による市民

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱のあった日から諮問に係る会議が終了した日までとする。ただ し、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

- 第5条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。
- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。 (会議)
- 第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。ただし、委員長が選任されていない場合その 他委員長が招集できない場合は、市長が招集する。
- 2 委員会は、委員の定数の半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。 (関係者の出席)
- 第7条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴くこと ができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、行政評価担当部署において処理する。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

別表 (第2条関係)

委員会の名称	担任事務、組織等
和泉市まち・ひと・しごと創	(1) 担任事務
生総合戦略及び和泉市総合	和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市
計画に係る事務事業の評価	総合計画に係る事務事業の評価、検証等に関するこ
等に関する外部評価委員会	と。
	(2) 委員定数 5人以内

4 事務局

市長公室 政策企画室

令和4年度 和泉市外部評価に対する市の対応方針

令和4年8月

令和4年度外部評価委員会において評価を受け、答申を頂いた内容に対する対応方針は次のとおりとします。

【1】評価対象事業

- (1) 道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業
- (2) 交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業

【2】対応方針

(1) 道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業

【担当課:産業振興室】

外部評価委員会の答申	対応方針(案)
○農業者の育成・支援	農産物の売上が向上すれば、農業者の所得が増
市内の農業者が年々減少していく中で	加し、更なる作付量の増加へのモチベーション
KPI を達成するには、市としても農業者	になり、市内農業の活性化が期待できます。
の育成や支援など、更なる努力が必要	この効果を最大限に発揮するため、指定管理者
である。	から販売時期別の売上実績や売れ筋野菜などの
	情報を農業者にフィードバックしたり、アグリ
	センターと連携することで農業者への技術的分
	野での支援などを行うことで更なる農業振興に
	繋げていきます。
○購買意欲の向上	四季折々の旬の野菜や果物を積極的に PR し、ス
交流人口を増やした結果、どのように	-パー等では味わえない新鮮な朝どれ農産物の
購買意欲に繋げていくのかが不明瞭で	魅力を発信するほか、隣接するレストランと連
あるため、KPI のひとつの農産物の売上	携し実際に食べていただくことで購買意欲を高
金額の大幅な増加は、現時点では楽観	めリピーターの獲得に繋げます。
視できない。	

○広報

認知を高めるための広報戦略を設定したうえで、SNS やホームページといったメディアを活用するとともに、自治会、子ども会など各種団体に出向き積極的に周知活動を実施されたい。

○運営体制の強化

農産物の品揃えに関して、まだ他と比べて少ないように感じることから、農産物の入荷など運営体制の強化を進められたい。

○指定管理者のチェック

継続的に売上を増加させるためにはリピーターを増加させる必要があり、定期的なイベントの実施、季節に対応した品揃えやメニュー開発を行うなど、運営会社に任せきりにせずに、常にプロモーションに対して担当者が関与されたい。

○他施設との差別化

近くの道の駅 2 ヵ所に比べて規模的に 劣勢な面があることから、他の道の駅 にない特色のある品物や料理の販売に 注力されたい。

○効果検証

周知活動においては SNS を活用し、フォロワーや投稿回数などに KPI を設けて、目標達成のための策を講じられたい。また、イベントは実施するだけでなく、集客状況を評価し、必ず PDCA サイクルを回し続けられたい。

ホームページやインスタグラム、Twitter などの SNS を活用し、旬の農産物の宣伝をはじめ、イベント等の告知など積極的な情報発信に努めます。また、自治会等に有効な「広報いずみ」にも積極的に掲載し、メディア等にも取り上げられるよう周知活動に取り組みます。

農業者の生産意欲の向上及び出荷量の増加に繋 げられるよう販売促進活動により売上の向上を 図るとともに随時出荷者の募集を行い、出荷登 録者数を増加させ、運営体制の強化に努めます。 また、アグリセンターで新たな農産物の産地化 やブランド化の取組を行います。

指定管理者とは常に意見交換を行える体制づくりに努め、プロモーションにおいては、市のホームページや Twitter、Line などの SNS を活用し積極的な広報を行います。

また指定管理者が食品会社である強みを生かし、季節に応じた旬の食材を使ったメニューや 商品を指定管理者と協議し開発します。

府内で一番の生産量を有する「みかん」を使った土産品として「和泉みかんとワイン」や和泉市産の玉ねぎを使ったドレッシングを開発しているほか、和泉市産の大麦を使ったビールを開発し、和泉市の特色を生かした品物やメニューを生み出すことで他の施設との差別化に取り組みます。

フォロワーや投稿回数などの KPI ついては、市 と指定管理者と協議し独自に設定し、事業評価 シートで設定している KPI と併せて達成できる よう努めます。

また、イベント等についても効果検証を行いより良い事業になるよう努めます。

(2) 交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業

【担当課:久保惣記念美術館】

外部評価委員会の答申

対応方針(案)

○広報

SNS やホームページを活用した積極的 な周知活動を実施されたい。近隣の大学と共同でイベントを開催することなども広報手段として検討されたい。

各交流拠点ホームページの導入が令和3年度に 完了したので、令和4年度からは各交流拠点に 係る各種情報(施設紹介、イベント情報、アク セス等)をホームページやSNSで積極的に発信 できるよう、その費用の一部を負担して財政面 で支援します。

また、桃山学院大学に働きかけを行い、交流拠 点運営者が大学と連携したイベントの開催や事 業 PR などができるようサポートを行います。

○交流人口の充実

来訪者の囲い込みを図るためにも、交 流拠点施設共有の割引券の発行や、拠 点間の移動手段を充実されたい。

交流拠点のイベントチラシを持参した者に対して、美術館入館料割引を行うなどの連携した取組を行います。

また、拠点間の移動促進が図れるよう案内マップを整備し、美術館前に掲示するなど、わかりやすい案内表記で拠点間の回遊性を高めます。

○利用者増加の取組

利用者が固定化したり一時的な集客に ならないよう、芸術、文化、音楽など 多彩なイベントを実施するため、年間 の開催計画を策定されたい。 交流拠点運営者が芸術、文化、音楽など多彩なイベントを開催できるよう、その費用の一部を 負担して財政面で支援していきます。

また、交流拠点運営者が年間開催計画の策定ができるよう、必要に応じて助言等を行います。

○効果検証

継続的な交流人口の増加を図るため、施設の活用方法・取組み等によりどのくらいの人流効果を生むのか検証を重ねられたい。また、WEB 交流サイトの具体的な活用プランの検討に加え、SEO 対策、効率的な情報発信やビジネスマッチングの方法の具体的なプランと、それを検証する体制を構築されたい。

交流拠点運営者に対してイベント等の実施に伴う効果測定・分析を行うよう働きかけを行うとともに、経営アドバイザーの活用を促し、その費用の一部を負担して財政面で支援します。

また、交流拠点運営者に対しWEB 交流サイトの効果的な運営を行うための具体的なプラン作成の必要性を助言し、作成にあたっては経営アドバイザーの活用を促し、その費用の一部を負担して財政面で支援します。